



飯沼中だより 2月

一人ひとりが輝き 学級 学年が輝く学校 平成31年2月1日(金)
飯沼中学校 TEL 746-7321 さわやか相談室 746-4572
<http://www.iinumachu.av-center.kasukabe.saitama.jp/> 生徒数 346名 (2月1日現在)

行動を起こす勇氣

2年 尾崎 未桜

私は人に対して行動を起こすことが、少し苦手です。相手の様子を伺ってしまい、行動を起こすタイミングを逃してしまうからです。小さな親切大きなお世話という言葉があるように、自分の起こした行動が相手には逆に余計なことだったらと考えると、とても怖いのです。なので、人に対して親切にすることはその親切が大きくても小さくても、それなりに勇氣のいる行動です。だから私は、電車で席を譲ったりしている人を見ると、とても尊敬します。

友達と遊んだ帰り道、私は電車に乗っていました。電車の中はいっぱいだったけれど、運がいいことに私は座ることができました。それから何駅か過ぎたころ、目の前に女の子が立っていることに気づいて、ぼーっと観察していたら、なんと女の子のバッグにマタニティマークが付いていることに気づいてしまったのです。つまり目の前の人は、妊婦さんでした。私は、席を譲ろうとしましたが、やはり相手の様子を伺ってしまい、なかなか「どうぞ」と言えません。周りを見ても、女の子が妊婦さんだということに気づいていないようでした。ついに、私は勇氣を振り絞り「どうぞ」の一言と共に席を譲ることが出来ました。妊婦さんは一瞬驚いた顔をしていましたが、笑顔で「ありがとう」と言ってくれました。きっと声は震えて汗はダラダラでもしかしたら、変な人と思われたかもしれないけれど、ありがとうと笑顔で言われたのが嬉しくて、そんなこと全部吹っ飛びました。その後は明るい気持ちのまま無事家に帰ることが出来ました。

今思うとあのまま席を譲らなかつたら、きっと後悔していたと思う、もやもやしてたと思うから、あのとき席を譲ることが出来て良かったと思います。この体験のおかげで、以前よりも、人に対して行動を起こす苦手意識が少なくなってきたなと思います。少しでも勇氣を出して親切な行動を起こせば、自分が親切にした分「ありがとう」という嬉しい言葉が返ってくることに気づいたからです。



- 2学期の終業式、生徒代表の言葉で、「合唱祭では去年よりも上手に歌えました。優しくしてくれたみんな、ありがとう。」と発表してくれた生徒がいます。
 - 登校時に、横断歩道の手前で止まってくれた運転手さんに、会釈をしてお礼をしている生徒がいます。
 - 成果をあげたスキー教室後の黒板に「・・・時間、メリハリ、普段の小さな努力がスキー教室という大舞台で発揮できました。・・・感動をありがとう！」と想いを伝える担任がいます。
- 「ありがとう」にあふれた飯沼中学校、生徒の皆さん、地域・保護者の皆さん 本当にありがとう。(校長)

2年スキー教室を終えて

1月16日から18日までの3日間、北志賀高原スキー場にてスキー教室が実施されました。出発の前から天気ばかりを気にしていましたが、当日は天候に恵まれ奇跡的に3日間風も全く無風状態で、2日目には澄みきった青空に恵まれ充実したスキー講習が行えました。3日間を振り返ると、スキー技術の向上や充実感にあふれるものでした。また、館内では時間を意識した行動、自己の役割をしっかりと果たし、3日間の子供達の姿は勇敢に感じました。2先生としての集大成

を感じる中、更に学級の集団も良い雰囲気に包まれました。事後の集会では、実行委員長の松本君が、「各部会ごとに役割を果たし、自分達で創りあげたスキー教室であったと思います。今後、スキー教室で学んだことを学校生活の中で生かしていきたいと思います。」と、堂々と発表していました。きっと達成感とこれからの2年生の学年集団を誇らしく感じたことでしょう。

スキー教室を通して自分の良さを発揮し、仲間の良さを発見できたと思います。また学級や学年の絆が深まり、一人ひとりが輝くスキー教室だったと感じます。そして今ここに3年生へ向けて一歩がスタートしたと確信しました。(教頭)

